



－記者発表資料－

平成19年12月18日
四国地方整備局
土佐国道事務所

平成19年度 第4回 四国地方整備局総合評価地域小委員会（高知県）の開催結果

●平成19年度 第4回 四国地方整備局総合評価地域小委員会（高知県） の開催結果について

平成19年度第4回四国地方整備局総合評価地域小委員会（高知県）を平成19年12月13日に開催し、平成19年度（平成19年度版実施方針に基づいた案件）の工事149件（高知県内の分任官契約案件）について評価項目の内容等を提示し、その中より代表案件6件について具体内容説明を行い、ご意見をお伺いしました。

四国地方整備局総合評価地域小委員会（高知県）でいただいたご意見については、今後の総合評価方式の評価方法等についての参考とさせていただきます。

<総合評価委員会とは>

四国地方整備局総合評価委員会は、総合評価方式により工事の発注を行うにあたり、技術提案の審査又は評価が中立かつ公正に行われるように、学識経験者より意見聴取するために設置したもので、地域小委員会（高知県）では高知県内の事務所発注案件について、複数の工事に共通する評価方法及び個別工事の評価方法や落札者の決定方法に関することについて意見聴取するものです。

平成19年度 第4回 四国地方整備局総合評価地域小委員会（高知県）の概要

1. 日時：平成19年12月13日（木） 15:00～17:00
2. 場所：土佐国道事務所 会議室
3. 出席委員：大年 邦雄 委員、 藤澤 伸光 委員、 宮下 保之 委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 議事概要・・・別紙－2

<問い合わせ先> 国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所
工事品質管理官 かなおかよしひこ 金岡 嘉彦 TEL：(088)884-0359 （内線301）

日時：平成１９年１２月１３日15:00～17:00

場所：土佐国道事務所 １階会議室

高知市市江陽町２－２

平成１９年度 第４回 四国地方整備局総合評価地域小委員会（高知県）

議 事 次 第

１．開 会

２．報告事項

- 1) 四国地方整備局における入札状況（H17～H19）等
- 2) 工事成績評定点と総合評価点区分の状況等

３．審議事項

- 1) 平成１９年度の適用工事について
- 2) 具体事例について
 - ・平成１９－２０年度 森山地区地すべり対策（その２）工事 [大渡ダム管理所]
 - ・平成１９年度 高知直流電源装置設置工事 [高知河川国道事務所]
 - ・須崎港湾口地区防波堤工事（その（４）） [高知港湾・空港整備事務所]
 - ・平成１９年度 中土佐ＩＣ改良工事 [土佐国道事務所]
 - ・平成１９年度 横瀬川ダム付替市道外（その２）工事 [中筋川総合開発工事事務所]
 - ・平成１９年度 新四万十川橋防護柵外工事 [中村河川国道事務所]

４．閉 会

**平成19年度（第4回）
四国地方整備局総合評価地域小委員会（高知県）開催結果概要**

日時：平成19年12月13日 15:00～17:00

場所：土佐国道事務所1階会議室

出席委員 大年 邦雄 委員、 藤澤 伸光 委員、 宮下 保之 委員

I 報告事項

- 1) 四国地方整備局における入札状況（H17～H19）等
- 2) 工事成績評定点と総合評価点区分の状況等

II 意見聴取の概要

平成19年度（平成19年度版実施方針に基づいた案件）の工事149件（高知県内の分任官契約案件）について評価項目の内容等を提示説明。その内、代表的な6件の具体事例について、複数の工事に共通する評価方法、個別工事の評価方法、及び落札者の決定方法に関し、委員の方々より、意見を聴取。

継続：前回（第3回）提示した案件

新規：今回新たに提示した案件

平成19年度版の実施方針に基づいた対象案件総括表（分任官契約）
H19.11.30 現在

		開札済み	手続き中	準備中	合計
高度型	継続	0件	0件	0件	0件
	新規	0件	0件	0件	0件
	合計	0件	0件	0件	0件
標準型	継続	0件	0件	0件	0件
	新規	0件	0件	0件	0件
	合計	0件	0件	0件	0件
簡易型	継続	107件	9件	3件	119件
	新規	13件	10件	7件	30件
	合計	120件	19件	10件	149件
総合計		120件	19件	10件	149件

III 主な意見の概要

・繰り返し良い提案を行った場合の評価については、落札意志がないにも関わらず入札参加し、故意に予定価格を超過することで良い提案実績を積み重ねて行くことが予想されるので、今後の動向に注意していく必要がある。

・提案内容の評価手法については、特に良い提案には重み付けを行うことも今後検討して行く必要がある。

・技術提案を求める課題を設定する際には、あらかじめ提案されるであろう内容を想定した上で内容設定することが望ましい。また、提案内容が多様になると予想される場合には、発注者として求める具体的な項目を記載することも検討する必要がある。